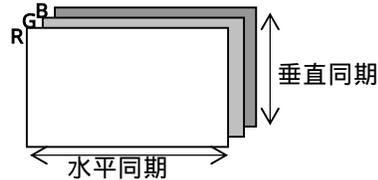


映像信号の種類

パソコン映像とビデオ映像とは、**信号の周波数が違う。**

映像信号は、R (赤)、G (緑)、B (青)、H (水平同期信号)、V (垂直同期信号)の5つの要素に分解される。

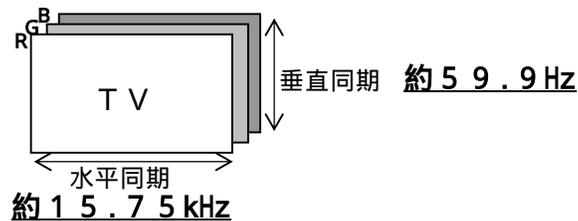
$R (100\%) + G (100\%) + B (100\%) = \text{「白」}$



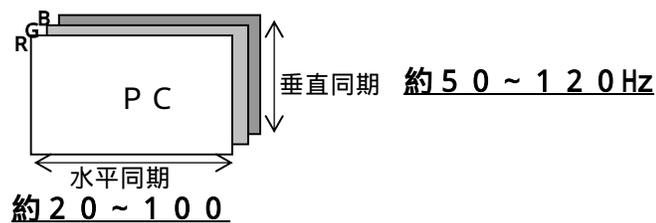
乱暴な言い方をすれば、R G Bの各色信号で映像の内容が決まり、水平垂直の各同期信号で信号の種類が決まる。

ビデオ信号 (日本で使用されている種類であるNTSCの場合)は、

水平同期 約15.75kHz、垂直同期 約59.9Hz、と決められている。



パソコン用信号は、水平同期 約20~100kHz、垂直同期 約50~120Hzと**高周波**であり、**高画質・高解像度の映像を表示できる。**



一昔前まで映像機器は、ビデオ映像用(テレビなど)とパソコン映像用(パソコン用CRTなど)に分かれていた。

それは一般家庭に普及される安価なテレビに対し、高周波用モニターは高価であり、その用途の差から、別々の存在として認識されていたからである。

近年では、その両方を映すことのできる、プロジェクターやプラズマディスプレイが登場し、その境目はなくなってきた。

しかし、それらを接続するケーブルや伝送信号方式は完全に分けられており、それぞれ対応した機器が必要で、配線に関する制限も異なっている。

ントオール江戸川 (協力: 西尾レントオール 通信レンタルセンター)